

平成 22 年 5 月 12 日
株式会社 ロハスメディア

患者家族と医療従事者の生の声を徹底ルポした『救児の人々』 ロハス・メディカル叢書創刊を記念して 無料全文公開！

患者向け月刊医療フリーマガジン『ロハス・メディカル』を発行する株式会社ロハスメディア（本社：港区南青山、代表取締役・川口恭）は、5月25日に叢書第一作として、最先端の新生児医療とその後続く福祉の貧困とのギャップをルポした『救児の人々～医療にどこまで求めますか～』を刊行、これに先立つ5月20日より当該作を含む3書籍について、期間限定でインターネット上に全文無料公開いたします。

05年9月に創刊した『ロハス・メディカル』は、主に首都圏の基幹病院に置かれ、患者と医療従事者との間の情報や感情のギャップを埋め、その架け橋をめざす無料誌です。配置病院は口コミで増え続け、現在約170カ所、病院への配置部数は毎月10万部になります。また、他に新聞販売店が読者サービス用に買い取っている分も毎月7万部あります。医療界一流の執筆陣による記事は、病気の基礎知識の他、医療制度の解説や患者さんたちの体験談など、まじめにやさしく医療の「よく分からない点」を伝え続けています。



今年8月の創刊5周年60号を前に、普段の雑誌発行だけでは伝えきれない大事な話をルポしていく叢書を創刊することになりました。第一弾が、最先端新生児医療の現場で働く医療従事者や、その対象となった家族の姿を丹念に追った『救児の人々～医療にどこまで求めますか～』。5月25日に刊行します。

これを記念して当該書刊行に先立つ5月20日より、全文をロハス・メディカルウェブサイト <http://lohasmedical.jp/> 上にて無料公開することとしました。より多くの方に実態を知って、考えていただきたいためです。また、これを機に当社と『ロハス・メディカル』の存在を、より多くの方に知っていただくことも願い、既刊の『東大のがん治療医が癌になって』と『いのち輝かそう3』の2冊も同時に無料全文公開いたします。

全文公開ウェブサイト <http://lohasmedical.jp/books/>

（公開期間：2010年5月20日～2010年6月17日）

当社は今後も医療従事者と患者との架け橋をめざして情報を提供してまいります。

◆『救児の人々～医療にどこまで求めますか～』 概要と商品データ

『救児の人々～医療にどこまで求めますか～』は、最先端新生児医療の過酷な労働の現実と患者家族の苦悩を伝えるルポです。社会の表には出てこない医療側、患者側の生の声を徹底的に拾い伝えます。医療にどこまで求めるのか、求めることが許されるのか、問題提起の一冊です。

タイトル：『救児の人々～医療にどこまで求めますか～』

著者：熊田梨恵（ロハス・メディカル論説委員）

発売日：2010年5月25日

定価：1,680円（本体1,600円+税）

判型・頁数：四六版、384頁



【商品・ウェブサイトに関する問い合わせ先】

（株）ロハスメディア 担当・川口

TEL 03-5771-0073

ホームページ <http://lohasmedical.jp/>